

令和6年度第1回石巻市下水道事業運営審議会会議概要録

第1 日時 令和6年10月2日（水） 午後2時～3時30分

第2 会場 石巻市役所5階 501会議室

第3 出席委員 10名

岡野知子委員／田村真介委員／丸岡美穂委員／阿部宏通委員／阿部和夫委員／
芳賀茂吉委員／八木成一委員／千葉倫委員／千葉宏一委員／佐々木雅啓委員
※佐藤正和委員、小野寺潤委員欠席

第4 事務局

石巻市副市長 渡邊伸彦／建設部長 梶原正義／建設部理事 大壁勇彦／
建設部次長 佐藤一弘／建設部次長 今野正太郎／
下水道建設課課長 阿部毅／同課長補佐 小山辰也
下水道管理課課長 梶原和彦／同課課長補佐 藤井柳太郎（司会）／
同課技術課長補佐兼水洗化収納係長 戸村孝志／同課維持管理係長 佐藤昌也
同課主幹兼経営企画係長 小野忠敬（説明）／同係主査 菊地真央／
同係主査 佐々木恭平

第5 会議概要

1 開 会

司会が全出席予定者の着席を確認し、定刻に開会を宣言した。

2 委員委嘱

渡邊副市長から各委員へ委嘱状の交付を行った。

3 副市長あいさつ

※副市長挨拶※

※別公務により渡邊副市長退席

4 委員及び職員紹介

司会が職員を紹介した。※委員は委嘱状交付式により割愛

5 石巻市下水道事業運営審議会（第2期）について

石巻市下水道事業運営審議会条例に基づき、審議会の概要及び目的を説明した。また、委員の互選により会長及び副会長を選出する必要があることも説明した。

6 本日の会議についての説明

事務局) 本日の会議ですが、事前に送付させていただいた資料に基づいて、議題の(2)、石巻市下水道事業経営状況についてのところで本市の下水道事業の現状と見通し、令和5年度の決算が出ましたので、令和5年度の決算の概要などを説明させていただきたいと考えており、また今年度の主に議論をいただきたいところの下水道使用料について、現在の使用料の体系や今後の見通しなどについて御説明をさせていただきたいと考えております。

7 会議の成立

司会が、本日の審議会の会議の成否について、石巻市下水道事業運営審議会条例第5条第2項の規定により、会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができないとされているところ、委員12人中10人の出席を得たので、会議が有効に成立することを報告した。

8 議題

(1) 会長及び副会長の選任について

司会が、会長選任までの仮議長として梶原建設部長が議事進行に努める旨説明した。

仮議長) それでは、条例第4条第1項に基づき、委員の皆様の互選により会長及び副会長各1名選出していただきたいと存じます。どなたか自薦・他薦・御意見等ございますでしょうか。

※事務局案の声

仮議長) 事務局案という声が複数ございましたので、事務局案いかがでしょうか。

事務局) 事務局といたしまして、昨年度までの第1期に引き続きまして、会長に石巻専修大学教授の岡野知子委員、副会長に石巻専修大学准教授の田村真介委員を推薦させていただきます、委員皆様の御賛同とお2人の御了解を頂戴したいと考えております。

仮議長) ただいま事務局から会長に石巻専修大学教授岡野知子委員、副会長に石巻専修大学准教授田村真介委員が推薦されました。委員の皆様方におかれましては、事務局案に御異議ございませんか。

※異議なしの声

仮議長) 異議なしの声がございました。岡野先生、田村先生よろしいでしょうか。

※了解するとの返答

仮議長) はい。ありがとうございます。ただいまお2人の御了解も頂戴いたしましたので、会長は岡野知子委員、副会長は田村真介委員に決定いたしました。以上で仮議長の役目を終了し、議長席から退席いたします。御協力ありがとうございました。

※別公務により建設部長退席

司会) それでは、初めに、岡野会長より一言御挨拶をお願いします。

※岡野会長あいさつ

司会) ありがとうございます。条例第5条第1項の規定により会長が会議の議長を務めることとなっておりますので、ここからの進行は、岡野会長にお願いいたします。

(2) 石巻市下水道事業経営状況について

会長) それでは次第6の(2)、石巻市下水道事業経営状況について、事務局から説明をお願いいたします。

※資料1～4に基づき事務局から石巻市下水道事業の現状と見通し、令和5年度の決算概要、下水道使用料、今後の審議会の予定について説明を行った。

会長) ただ今、事務局から御説明をしていただきました中で、資料1から資料3につきまして、御質問等ございましたら挙手をお願いします。

委員) 資料3の9ページのグラフについてですが、現行収益とありますが、これは令和5年度のグラフということでしょうか。

事務局) イメージとして、わかりやすくするために作成したグラフです。

委員) わかりました。それと資料 1 (8 ページ) では使用料で賄うべき污水处理費とありますが、資料 3 では使用料の対象となる経費とあります。なにか違いはあるのでしょうか。

事務局) 違いはありません。

委員) なるほど。統一した方が良いかと思います。

事務局) わかりました。ありがとうございます。

会長) よろしいでしょうか。ほかにございますか。

委員) 資料 1 の 10 ページにセグメント毎とありますが、公共と農業 (集落排水) ・漁業 (集落排水) など、同じ料金体系なのでしょうか。

事務局) 現行はそうです。

委員) なるほど。その中で、特定地域 (生活排水処理) や農業・漁業などが半分も回収できていないという理解でよろしいですか。

事務局) そうですね。

委員) 全体の回収率に対してそれぞれどれぐらいの比率なのでしょうか。

事務局) 今すぐに資料はお示しできませんが、やはり公共下水道が非常に大きく、例えば漁業集落はエリアが非常に限られた地区となっており、バラツキは大きいです。

委員) この図の見方としては、農業や漁業は公共下水道と比べて、処理費用が大きくかかるということで理解していいですか。

事務局) そうですね。

委員) それと、資料 3 の 10 ページに表がありますが、これは資料 1 の 7 ページの表を基に作られているということでよろしいでしょうか。どの数字を拾えばいいのでしょうか。

事務局) 基本的にはそうですね。ただ、資料 1 は収益的支出の全体ですが、その中から公費で負担すべき費用を除いた、使用料で賄うべき費用を抜き出したものが資料 3 となっております。

委員) 資料 3 の污水处理費①は資料 1 の (2) 経費になにかが足されているということですか。

事務局) 資料 3 の污水处理費は維持管理費と資本費の合計となっておりますが、資本費については、支払利息です。維持管理費はそれ以外の収益的支出の中の営業費用のうちの一部を抜き出したもので、資料 1 に書かれている数字の一部をそのまま持ってきたわけではありません。

委員) わかりました。それから同じく資料 3 の 10 ページに経費回収率とあり、今後 87%程度になっていくという見込みのようですが、普通の企業で考えるとこの経費回収率をいかに上げるかということを考えていくことが必要となるわけですが、そういう回収率を上げる取り組みについても、今年度議論していくのでしょうか。

事務局) 使用料を上げていこうと考えております。

委員) 使用料を上げていくのはそうだろうけど、経費回収率を 87%と固定して考えて

114 いるけど、市として、経費回収率を上げる取り組みをして、使用料の値上げをいくら
115 かでも少なくするというように物事を考えていく必要があるのではないのでしょうか。

116 **事務局)** この表については、経営戦略の中で、費用と収入の見込みから算出していま
117 すので、固定ではありません。

118 **委員)** でも経費回収率が 100%にはなっていないですよね。

119 **事務局)** あくまで経営戦略策定時点での見込みで計算しております。

120 **委員)** その経営戦略の中でも経費回収率を上げる方策ということで盛込んでいるのだ
121 から、経費回収率についても、その取組結果を反映させていくように考えていく必要
122 があるのではないのでしょうか。真面目に納めている人とそうじゃないひとがいて、こ
123 れから真面目に納めている人の負担が増える議論をしていくわけですよ。

124 **事務局)** 先ほども説明しましたが、滞納者についても、昨年度から差し押さえ等を行
125 っておりまして、限られた職員数の中で可能な限りではありますが、今後とも組み
126 を進めていくつもりです。また、切替補助金について、昨年度審議会で上限を 10 万
127 円から 20 万円に増額しましたので、接続数を増やして、収入を増やしていくことを
128 進めてまいります。

129 **委員)** 次回示されるのかもしれませんが、経費回収率が R12 では 81.3%となっており
130 ますがこれはどんな前提ですか。

131 **事務局)** 経営戦略策定時点での予測から算出しております。

132 物価高騰や人口減少が予測されますので、下がっていくという見込みです。

133 **委員)** それはわかりますが、経費回収率をあげていくという考え方も重要だと思いま
134 す。

135 **事務局)** そうですね。

136 **会長)** いま、委員と事務局の間でやりとりが続いていて、どこの話をしているのか、
137 ほかの委員にもわかるように、事務局でまとめて今の話を説明していただいていいで
138 すか。

139 **事務局)** 経費回収率についてお話ししておりましたが、この経費回収率については、
140 経営戦略の中で今後の収支見通しを作成しましたが、人口減少と維持管理経費の増大
141 がその背景にあります。また、経営戦略の中で経費回収率を上げる取り組みとして、
142 不明水対策も盛り込んでおり、昨年議論いただいた切替補助金の増額などで接続を増
143 やし、収入増につなげようと考えております。また、これまで実施していなかった滞
144 納者への取り組みも令和 5 年度から差し押さえ等を始めております。

145 **会長)** 委員の皆様よろしいのでしょうか。今の説明に対してなにかございますか。

146 **委員)** 決算の説明はありましたが、令和 6 年度の予算の説明もお願いしたいです。も
147 う 9 月も終わっていますので、ある程度実績もあると思います。私は普段一般企業の
148 会計状況を見ることが多く、隣の女川町の監査委員もやっておりますが、企業会計と
149 いても、公営企業は、結局は一般会計からの補填や企業債ということになるかと思
150 いますが、そういった見込みの中で、収入が見込めないのであればやはり支出を抑え
151 ることが必要で、どうしてもかかる経費はあると思いますが、緩急をつけて、いかに

152 効率的に経費を使っていくかというところが予算に現れなくてはいけないと思います
153 が、そういったところもを見せていただければと思います。
154 **事務局**）次回お示ししたいと思います。
155 **会長**）では次回、事務局から御説明いただくことにします。ほかにございます
156 か。
157 **会長**）質問がないようですので、それでは本日の議事はこれで終了します。委員の皆
158 様御協力ありがとうございました。
159 **9 閉会**
160 司会が閉会を宣言した。